

ñ

ì ÿ Ÿ v

令和2年11月30日 No. 8

Ó Í TMA A

-) & %\$, (S
H@ \$@ -!*'!(%\$+ \hhd. ##_UbU!^g" gUXc" YX^d#

佐渡を愛し誇りに思う生徒を育てる「佐渡学」

%

%\$

%% %

ひのき

しまい うたい

こつづみ おおつづみ たいこ

りけん けん

%

思考力を高める授業

当校では学びの質の高い授業を目指し、「思考力を高めるための課題や発問、学び合いの在り方」について研修する授業研究を進めています。思考力は教師からの発問や生徒同士の学び合いにより、生徒が自ら考えることを通して高まります。

概要ではありますが、2 学期前半に行った 5 つの研究授業について紹介します。

嶋倉教諭 3 A 英語「主格の関係代名詞」(9 月 17 日)

ルイス先生の友達に**佐渡のおすすめについて関係代名詞を使って説明**することを目標とする単元で、この時間は関係代名詞を用いて説明する英文を書くことをねらいとしました。

生徒は佐渡の名所について説明する英文を口頭練習したり、カードゲームでペアに質問したりして練習した後、「**It is a mountain that has many hiking courses.**」と書くことができました。



金子教諭 1 A 数学「1 次方程式」(9 月 23 日)

【問題】 班で栗拾いに出かけ、集めた栗を全員で分けることにしました。1 人 9 個ずつ分けると 3 個たりません。また 1 人 8 個ずつ分けると 4 個あまります。班の人数と栗の個数を求めなさい。

左の問題に対し、生徒は**班の人数を x** として $9x - 3 = 8x + 4$ という方程式を立てて求めました。この考えを全体で確認後、右の方程式を提示し、この式は何を表しているか班で考えさせました。生徒は、この式は**栗の個数を x** として班の人数を表していることが分かり、2 つの方法で求めることができるようになりました。

$$\frac{x + 3}{9} = \frac{x - 4}{8}$$

北 教諭 2 B 国語「モアイは語る」(10 月 7 日)

授業の前半にイースター島と地球の状況を比較させ、班で確認させました。これにより、生徒は「人類が生き残るには、今ある有限の資源をできるだけ効率よく長期にわたって利用する方策を考えなければならない」という**筆者の主張**だけでなく、その**主張の根拠**も読み取ることができました。さらに、筆者はなぜこのような主張をしているのか**筆者の意図**にまで気付く生徒もいました。



小林養護教諭 2 B 保健体育「生活習慣病やがんの予防」(10 月 14 日)



生活習慣病やがんを予防するために今できることは何だろうという学習課題の下、生徒は**自分の目標**と**そのために取り組むこと**をイメージマップに書き、班員に紹介しました。その際、「**本当にできるのか**」「**他によい方法はないか**」という視点で助言させました。生徒は友達からの質問や助言により考えを深め、より**具体的で実効性のある策**に修正しました。

霍間教諭 1 B 英語「三人称単数現在形」(10 月 27 日)

三人称単数現在形を用いて、身近な人または有名人の紹介文をクイズとして作らせました。

生徒は班で相談しながら「**クイズの内容**」と「**英語表現**」を考え、右のようなクイズを作りました。

- 1 He is a Cartoon character.
- 2 He is a child.
- 3 He doesn't play karate, but he plays soccer.
- 4 He likes Ran Mouri.
- 5 He has a soccer ball.



「笑顔、学び、成長のある修学旅行」

3学年主任 嶋倉 久子

「中学校生活で楽しみなことは修学旅行」。4月に書いた自己紹介シートに多くの生徒がこのように書いていました。コロナ禍で先行きが不安な中、なんとかこの声に応えたいと思い、旅行会社と打合せを重ねてきました。PTA3学年委員の方々をはじめ、保護者のみなさまのご理解をいただき、県内1泊2日の修学旅行が実現しました。多くの方の支援を受けての旅行だからこそ、生徒には全力で楽しむことに加え、集団として成長できる旅にするために何ができるのかを考えさせてきました。結果、旅行中は時間厳守の行動が見られ、お世話になる方々への挨拶も印象的でした。遊園地で「先生一緒に乗ろう！」と誘ってくれたり、家族や後輩へのお土産選びに没頭したり、お腹を抱えて笑ったりと、教室では見られない生徒の姿がたくさん見られました。

従来とは異なる旅行だったことで、生徒には当たり前のことや、家族への感謝の気持ちが育まれる実りの多い旅行になりました。この先の人生でも、当たり前のこと感謝しながら、仲間を大切に、前進してくれることを願っています。



思春期教室 「心にレッドリボンを」

養護教諭 小林 礼美



命の尊さや思春期の心身の変化、それを取り巻く「性」の現状を知り、今後の行動選択や生き方について考えるために、思春期教室を実施しました。「ひこう船の会」代表の瀧澤ミチ子先生を講師としてお迎えし、学年ごとにご講演いただきました。

2年生の講演は「忘れないでほしい～エイズで亡くなった池田幸博さんのこと～」でした。薬害エイズを患った幸博さんと家族を記録したビデオを、真剣なまなざしで視聴していました。瀧澤先生のお話から、「差別や偏見はおかしい」「エイズや他の病気で亡くなった人の分も生きたい」という感想を多くの生徒がもっていました。今回を機に、エイズへの理解と支援の意思を示す「レッドリボン」を心につけることのできた生徒が増えたように感じました。

各学年の生徒の感想を12月の保健便り（健やかな泉）で紹介します。ぜひご覧ください。思春期教室で考えたことを胸に生活してくれることを願っています。

各学年の生徒の感想を12月の保健便り（健やかな泉）で紹介します。ぜひご覧ください。思春期教室で考えたことを胸に生活してくれることを願っています。

「本物にふれる、文化に学ぶ」

1 学年主任 樋口 剛



11月19日、1年生が「総合的な学習の時間」で取り組んできた「地域文化体験活動」の発表会が行われました。日本舞踊・能・民話・文弥人形・佐渡おけさ（笛・太鼓・三味線・唄・踊り）の中から体験内容を決定し、8月下旬から練習を積んできました。講師には佐渡市内でそれぞれの分野に取り組んでおられる方々に来ていただき、専門的な内容も分かりやすく、丁寧に指導していただきました。1回2時間全10回の練習でしたが、中には道具を持ち帰って家で練習した生徒もあり、それぞれにできる限りのパフォーマンスを披露できました。見ていただいた地域の方や2年生の生徒からも、好意的な評価をいただきました。礼儀や作法、所作についての指導や地域文化継承に対する思いなど、演奏や身のこなし以外にも教えられることが多く、佐渡の住人として、そして日本人として心に植え付けられたこともあったと思います。今後の生活に活かされることを期待しています。

大切に使用させていただきます

この度、株式会社 金井電設様と株式会社 大光銀行様のご厚意により、ワイヤレスマイク一式を当校へご寄付いただきました。心より感謝申し上げます。

朝会や集会、行事等で使用していたマイクが古くなっていましたので、学校としてとても嬉しく思っております。今後、多くの教育活動で大事に使わせていただきます。



新しい職員が赴任しました

11月19日より、新しい職員として講師の石塚光昌（いしづか みつまさ）さんが勤務しております。石塚先生からは、授業時のT・T指導、生徒への個別指導を行っていただき、学習指導をより充実させていきます。よろしくお願いいたします。

活動の記録

- | | | | | |
|--------------------------|------------------|----|-----------|-----|
| 【中学生の税についての作文】 | ・新潟県佐渡地域振興局長賞 | 3年 | 土屋 | 璃実 |
| | ・佐渡市長賞 | 3年 | 堂後 | 葵 |
| | ・全佐渡納税貯蓄組合連合会会長賞 | 3年 | 中川 | 瑞歩 |
| 【青少年読書感想文コンクール（新潟県審査）】 | ・入選 | 1年 | 宇治 | アンナ |
| | ・入選 | 3年 | 木村 | 凜華 |
| 【佐渡市中学校バレーボール1・2年生大会】 | ・優勝 | | 男子バレーボール部 | |
| | ・準優勝 | | 女子バレーボール部 | |
| 【下越地区中学生新人バレーボールフェスティバル】 | ・優勝 | | 男子バレーボール部 | |